

## タッサニーヤー サェリーさん

東南アジアのタイ出身の女性。タイでは生まれた時に本名と共にニックネームもつける。タッサニーヤーさんのニックネームは「グン」。(タイ語で「女性らしい」という意味。以下グンさん。)

大学では文学部日本語学科で日本語を勉強し、東京への留学経験あり。平成14年から3年間甲良町( )でJICAのタイ国地方行政研修員受け入れプロジェクトがおこなわれ、そのうち2年間関わり地方分権について学ぶ。プロジェクト終了後、2008年から今年度3月末まで、甲良町総務課-まちづくりグループ-で国際交流企画員として働く。

( 甲良町内13の集落それぞれが「むらづくり委員会」を組織しており、全国から住民主体のむらづくりが注目されている。)

## グンさんの活動

グンさんは国際交流企画員として甲良町の学校や保育園、老人会での交流事業、多文化サークルの活動、夏祭りなどのイベント時に多文化ステージを実施するなどの活動をされてきました。例えば「もし世界が100人の村だったら」という本を元に、甲良中学校で「もし世界が78人の村だったら」というワークショップを行い、子どもたちに世界のことを考えてもらっています。

甲良町においてタイの理解を広めるにとどまらず、町内外の様々な国の方と関わりながら、日本における多文化共生を広げる活動をされてきました。

## 中学生海外派遣事業

グンさんが活動されている間に、甲良町では中学生海外派遣事業により、2008年度と2009年度、甲良の子どもたちがタイへいきました。タイの子ども達とスポーツやゲームを通して交流したり、古都アユタヤを観光したりタイ料理を楽しみました。

毎回この事業でグンさんはタイの母の日の行事に合わせて日程を組みます。タイでは王妃の誕生日(8月12日)を母の日と定めています。タイでは王室が大変尊ばれており、母の日には全国的にイベントが開催されます。タイでは両親や目上の人にも大切にします。そしてこの母の日には各家庭でもジャスミンの花を母親に渡して日頃の感謝の気持ちを伝えます。タイの文化を通して、親への感謝の気持ちが薄れつつある日本の子ども達に、その気持ちを養ってもらいたい、というグンさんの思いが込められています。



ジャスミンの花リース

子どもたちの感想：・タイ料理は辛くて食べられなかった。・日本とタイで違うことがいっぱいあってとまどった。車と人では車が優先だったり、女の人はお坊さんに近づけなかったり。・文化が違うことは学べるということだからいい体験ができた。・初めは言葉が通じないと心も通じないと思っていたけど、言葉は通じなくても心は通じます。 甲良町広報より引用

## 日本で大変だったこと

どっぷり日本に親しみ、さまざまな活動をされてきたグンさんですが、日本にきて驚いたのは、最初友達を作るのが難しかったということだそうです。タイ人はフレンドリーなので、すぐに友達になるけれども、日本人は家にいってもなかなか家にあがらせてもらえず、またご飯を一緒に食べれるようになるまでに時間がかかる、とおっしゃっていました。

協力隊OVタイ隊員コメント：確かにタイ人はフレンドリー。目が合えば笑ってくるし、一言会話を交わせばもう友達。初めて家にお邪魔してもいつの間にかご飯と一緒に食べさせてもらっていました。逆に誰でもあまりよく知らない人でも何の前触れもなく突然私の家にやってきて、勝手に家に上がってきていました。このフレンドリーな国で育ってきたグンが、日本人は友達になるのが難しいと感じるのはもっともだと思います。

## 日本で驚いたこと

今は慣れたけれども、最初温泉には相当驚いたとのことでした。タイでは友達同士でお風呂に入る習慣がないので、裸の付き合いに最初は驚いたそうです。

Q：タイでは毎日、朝と夜の2回シャワーをしますが、日本の寒い冬でも毎日2回シャワーをするのですか？

グンさん：もちろんします。いろんな日本の文化に慣れたけれども、一日一度だけの入浴にはまだ慣れません。

## 今後について

甲良町の国際交流企画員の任期終了後の3月以降も、東近江周辺で多文化共生をテーマに活動できる仕事を希望されています。これからも日本にいる外国人と日本の懸け橋として活躍していただけることを期待します。

## グンさんお勧めタイ料理屋さん

ヤムタイ <http://www.yamutai.com/index.html>



ラーブ・ガイ  
炒った米粉と鶏ミンチのサラダ



トム・ヤム・クン  
辛く、酸っぱいエビのスープ

長浜市にある本格的タイ料理。  
店名の《ヤム・タイ》とは、タイ語でヤム（サラダ、和え物）+ タイでタイのサラダという意味です。

外国人訪問を終えて

ニックネームの通りかわいらしい方でした。おだやかでしかし、的確に地域のニーズを把握した活動をされており、話を聞いて大変刺激を受けました。今後ゲンさんの多文化共生に関する活動に参加させていただきたいなと思います。

佐藤綾子

